



## 合唱団 NHKコンクール地区大会金賞(8/2)県大会奨励賞(8/25)

## 丸田敦希さん 陸上東海大会 4位入賞 おめでとうございます!



合唱団 県大会会場の前にて

8月2日(木)に駒ヶ根市文化会館でNHK合唱コンクール地区大会が行われ、課題曲「出発」自由曲「トムトムおじさんの綿菓子屋さん」の2曲を、団員が心を合わせ、ステキな歌声を響かせました。昨年に続き、見事金賞を受賞し、県大会出場校に選出されました。

県大会出場が決まり、さらに休み中、暑さに負けず練習を重ねました。地区大会での演奏をさらに上回るよう

に、表現が豊かになるように、聴いている人に届くように、強い気持ちで頑張りました。

8月25日(土)の県大会は塩尻のレザンホールで行われました。会場に到着したときから、比較的リラックスしており、ステージに上がった時も、のびのびと宮田小らしさを出して、歌いこなすことができました。気持ちを込めた歌声が会場に響き渡りました。積み重ねた練習の成果を十分に発揮できたと思います。演奏が終わって、やりきった満足げな表情が並びました。この夏を通して一回りも二回りも成長しました。

6年2組の丸田敦希さんは、ジャベリックボール投げの部で県大会5位に入賞し、県代表の一人として8月26日(日)の東海大会(静岡市)に臨みました。大舞台でも臆することなく、思い切りのよい投てきで、自己記録を2m以上更新し、50m90で見事4位に入賞しました。日々の運動で鍛えてきた力を発揮できました。



東海大会 競技場入口で

## 地域公開・祖父母参観日ご来校ありがとうございました(9/1)



金管バンドの迫力ある演奏



外国語に親しむ

校庭の駐車場が使えず、足下が悪い中、多くの皆様にご来校いただきました。ありがとうございました。1時間目授業参観、2時間目講話と児童発表にご参加いただきました。今年度取り組んでいる少人数学習(算

数)、外国語活動をはじめ、日々の子どもたちの学んでいる様子や課外活動を頑張っている様子が伝わったことと思います。特に今年度からキャリア教育という視点で、梅の里の時間(生活科、

総合的な学習の時間等)の掲示物を展示したり、各教室の授業のキャリア教育的意味を案内に掲載したりしました。いかがだったでしょうか。

P T A会長からは今年度の取組やP T A役員としてのお話をしていただき、現在のP T Aの思いを共有できたと思います。

校長講話は、2つの言葉「おかげさま」「ありがとう」についてのお話でした。子どもの発表、自身の経験、祖母の言葉、最近の校庭の草取り等、日常の出来事を、2つの大切な言葉とつなげ、学校や家庭でこの言葉が響き合うことを願っていると伝えました。そして「宮小家族」（自分を好きになる 人を好きになる 宮田を好きになる）の実現に向けて、家庭、地域と共に手を取り合って進みたいと語りました。

## 9月の校長講話「凡事徹底」(抜粋) (9/12)

「凡事」とは「当たり前のこと」という意味です。だから「凡事徹底」とは「なんでもないような当たり前のことを当たり前にやる、中途半端でなく徹底して行う」ということになります。

凡事の一つ目は「礼」についてです。

日常生活の中で礼をする場面はたくさんあります。「おはようございます」「さようなら」と言って礼をします。授業の初めや終わりにも「お願いします」「ありがとうございました」と言って礼をします。言葉がなくても礼をする場面もあります。

今回は、言葉がついた礼について考えてみたいと思います。

運動会の組体操の練習を何度か見に行きました。そこでの、初めや終わりのあいさつがとてもよくできていて感心させられたのです。そして、普段皆さんがやっている礼とはちょっと違うなと感じたのです。

普段、皆さんは「お願いします」「ありがとうございました」と言いながら礼をしていることが多いと思います。ところが、5・6年生は「お願いします」「ありがとうございました」と言ったあとに礼をしていたのです。前に立つ小口先生と、180人の目が一瞬にして合っていたのです。

初めの「お願いします」では、「よし、今日もやるぞ」という意気込みが、最後の「ありがとうございました」では、「よくがんばった」という満足感が伝わってきました。そして、あいさつの言葉と礼とで、小口先生と180人の気持ちが通じ合う様子がよくわかりました。

礼の仕方を変えただけで、授業に向かう気持ちも変わってくるものと思います。礼の仕方についてクラスで考えてみてください。

凡事の二つ目は「はきものをそろえる」ということについてです。まず、一つの詩を聞いてください。

### 『はきものをそろえる』

はきものをそろえると ころもそろう  
ころがそろいと はきものもそろう  
ぬぐときにそろえておくと  
はくときに心がみだれない  
だれかがみだしておいたら  
だまってそろえておいてあげよう  
そうすればきっと  
世界中の人の心も そろうでしょう



この詩は、長野市の円福寺というお寺の和尚、藤本幸邦さんがつくった詩です。私がこの詩に初めて出会ったのは小学校6年生の時でした。もう、45年以上も前のことになります。私の母親が、新聞に載っていたと言って切り抜きを持ってきたのが最初でした。

先生として勤めるようになって何校目かの学校の玄関に、大きな額に入れられたこの詩がありました。よく「玄関はその家の顔」だと言われます。玄関の様子を見ればその学校のことかわかるという意味になります。

学校ばかりでなく、靴をそろえるということをやっている会社もあるそうです。実は大人にとっても難しいことだから取り組んでいるのですが、そんな会社は、世間からの信頼も厚く、業績もとてもいいと聞いています。

はきものをそろえられる人は、自分の心が落ち着いていて、周りのこともよく見える人です。そんな人は、どんなことにも一生懸命に頑張れるし、相手の気持ちになって考えられる、思いやりの心に満ちた人です。

そして、はきものをそろえるということは、心を整えて、次の取りかかりに気持ちをそろえていくことにつながります。たとえば、学習の準備も同じことです。授業が始まる前に必要なものをきちんと揃えておくことができれば、心構えがしっかりとできて、学習が身につきます。

では、皆さんの下駄箱の様子はどうでしょう。

下駄箱はもちろんですが、保健室やパソコン室に入るとき、靴をそろえられる人が多いと感じています。だから、皆さんもどんなことにも一生懸命に頑張れるし、友達の気持ちになって考えられる、思いやりの心に満ちた人なのです。

さあ、2学期の残り、「凡事徹底」、礼をする、靴をそろえる、このことを徹底的にがんばりましょう。そして、それができた時、一層心が通じ合い「宮小家族 ～自分を好きになる 他人を好きになる 宮田を好きになる～」が実現されるはずです。

\*この全校集会の後、下駄箱の様子を確認しながら教室へ戻るクラスがたくさんありました。この履き物に心を配る姿勢は、現在も続いています。また、言葉の後の礼も、全校音楽など機会あるごとに意識できるようにやっているところです。

## 中学校1年生との交流会 1年(9/7)

宮田中学校のお兄さんお姉さんとの交流会がありました。始まる前から、1年生はワクワク、ドキドキ、そわそわ。とても楽しみにしていました。そして、いよいよ始まると、小グループの本の読み聞かせや、お店屋さんごっこなど、1年生はニコニコしながらこの時間を楽しんでいました。特にお店屋さんごっこでは、牛乳のふたで作った通貨を用いてアクセサリーを買ったり、ゲームを

体験したりして大興奮でした。限りがあるお金に対する意識も学びました。この時間を通して中1のお兄さん、お姉さんに対して、憧れや頼もしさをいっぱい感じたと思います。



しっとりと読み聞かせ



上手にできるかな?

# プログラミング学習を体験

6年(8/30)

2020年度から正式実施される学習内容の中に、プログラミング学習ということが入って来ます。今年度と来年度は、その内容の移行期間に当たっており、本校でも少しずつ、取り組んでおります。

8月末には、6年が学級ごと2時間ずつプログラミングにかかわる授業を行いました。電算(株)のスタッフの方を招いて、ペッパー君と接しながらの学習でした。はじめは、「プログラミング」とはどのようなことなのか、どんなふうに使われているかなど、お話を聞き、その後、ペッパー君のダンスを見たり、ペッパー君の年齢あてなどに挑戦したりして、遊び体験をしました。

後半はグループに分かれ、パソコンでペッパー君に言葉や動きの命令を出し、正しく作動するかということを行いました。一つの言葉や動きが、上手に反映されると、拍手や歓声が湧き、とても盛り上がりました。

夕方からは、プログラミング学習についての職員研修を行いました。東京の専門家の方から、ネット回線で講義を受け、その後、プログラミング学習のソフトをいくつか体験しました。



ペッパー君と仲良しに



新内容に備えて研修

# 長野社会見学 4年(9/5)

直前まで台風が心配されていましたが、速度が速かったこと、進路が少しそれたことで、運良く晴天に恵まれ、予定通り行うことができました。善光寺(お戒壇めぐり含む)、県庁、宿坊(精進料理)、少年科学センター、長野駅

乗って行きたいな



本堂の前でポーズ



(新幹線と記念撮影)を見学しました。特に善光寺では、観光客をほとんど見かけない状態でした。ゆっくりと建物や仏像を見たり、記念撮影をしたりできました。県庁では議場、防災センターなどで、県としての仕事について学びました。それぞれの場所で県都長野市ならではのことをいっぱい学習することができました。

# やっとできた稲刈り 5年(9/18)

雨で延び延びになっていた5年の稲刈り。先日やっということができました。最初は慣れない手つきでしたが、慣れるにつれて「ザクッ、ザクッ」と切るのがおもしろくなり、どんどん作業が進みました。稲束を縛ったり、はぞに掛けたり、なかなかできない経験をすることができました。

収穫祭が楽しみだ!

